2006 年 5 月 30 日

各　　位

会　社　名　**アステラス製薬株式会社**
代　表　者　代表取締役社長　竹中　登一
コード番号　４５０３
（URL　　http://www.astellas.com/jp）
東証・大証（各第一部）
決　算　期　3月
問合わせ先　広報部長　　田中　昭弘
Tel：（０３）３２４４－３２０１

骨粗鬆治療薬「FK481」の契約解消について

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：竹中 登一、以下「アステラス製薬」）は、このたび、当社がレ ラボラトワール セルヴィエ社（本社：フランス、以下「セルヴィエ社」）から導入し、日本において開発していた骨粗鬆治療薬「FK481（開発コード）」（一般名：ラネル酸ストロンチウム）について、同社との契約を解消しましたので、お知らせします。

セルヴィエ社が創製した「ラネル酸ストロンチウム」は、骨形成促進と骨吸収抑制の両作用をもつ骨粗鬆治療薬で、海外では「Protelos」の製品名で発売されています。日本におきましては、アステラス製薬が、2001 年にセルヴィエ社から国内での独占的開発・製造・販売権を取得し、臨床開発を行ってまいりました。

アステラス製薬が実施した国内の第 II 相試験においても海外臨床試験と同様に優れた有効性及び安全性を再現するデータが得られていますが、当社は、現在の開発パイプラインにおける優先順位を採算性も加味して見直した結果、今後本剤の日本での開発には参画しないことを決定いたしました。これに伴い、当社がセルヴィエ社との間で締結していた日本における「ラネル酸ストロンチウム」の独占的開発・製造・販売権に関する契約を解消したものです。

以　上